

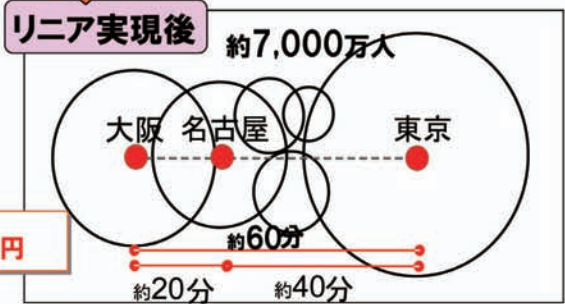
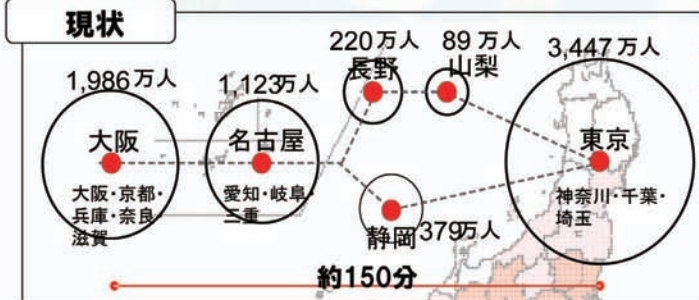
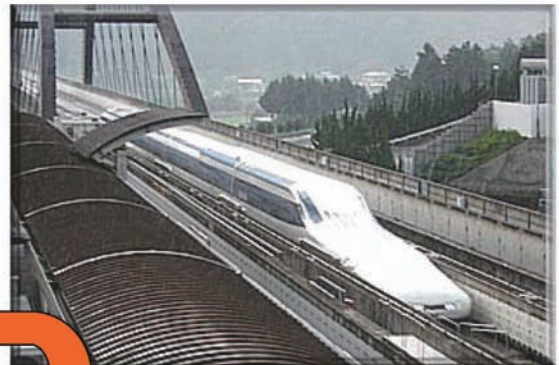
リニア中央新幹線飯田駅を見据えた地域づくり

平成22年11月12日

飯 田 市

リニア中央新幹線とは

リニア中央新幹線は、東京大阪間を最高速度500km/hのリニアモーターカーによって結ぶ新たな新幹線であり、全国新幹線鉄道整備法(全幹法)に基づき諸手続きが進められています。



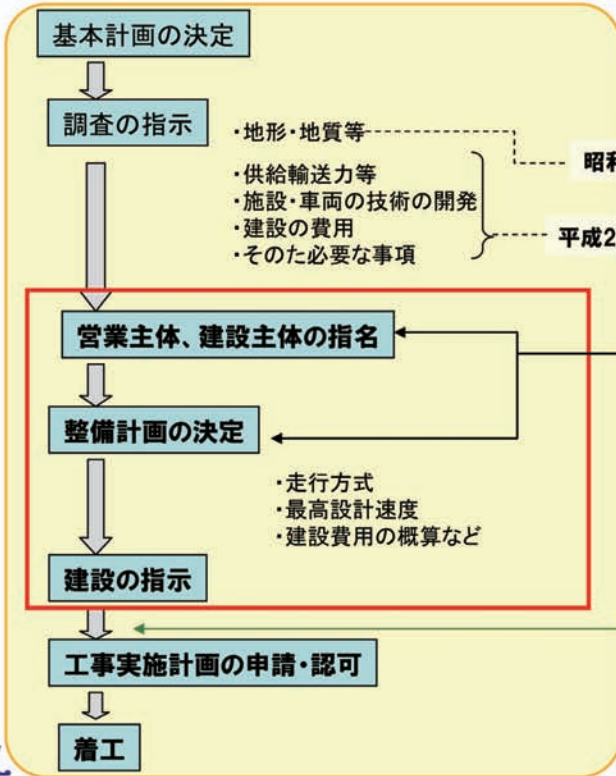
経済効果約16.8兆円

出典:リニア中央エクスプレス建設促進期成同盟会HPを元に作成



リニア中央新幹線に関する経緯

全国新幹線鉄道整備法



中央新幹線

昭和48年 基本計画線に決定

昭和49年 他地域に先行して飯伊地区期成同盟会を発足

昭和57年 リニア長野県協議会発足

昭和49年～平成20年10月 地形・地質調査の実施

平成19年 JR東海全額自己負担による実現を表明

平成20年12月～平成21年12月 残り4項目調査の実施

交通政策審議会への諮問・答申

平成22年2月 交通政策審議会への諮問
鉄道部会への付託

中央新幹線小委員会において、審議中

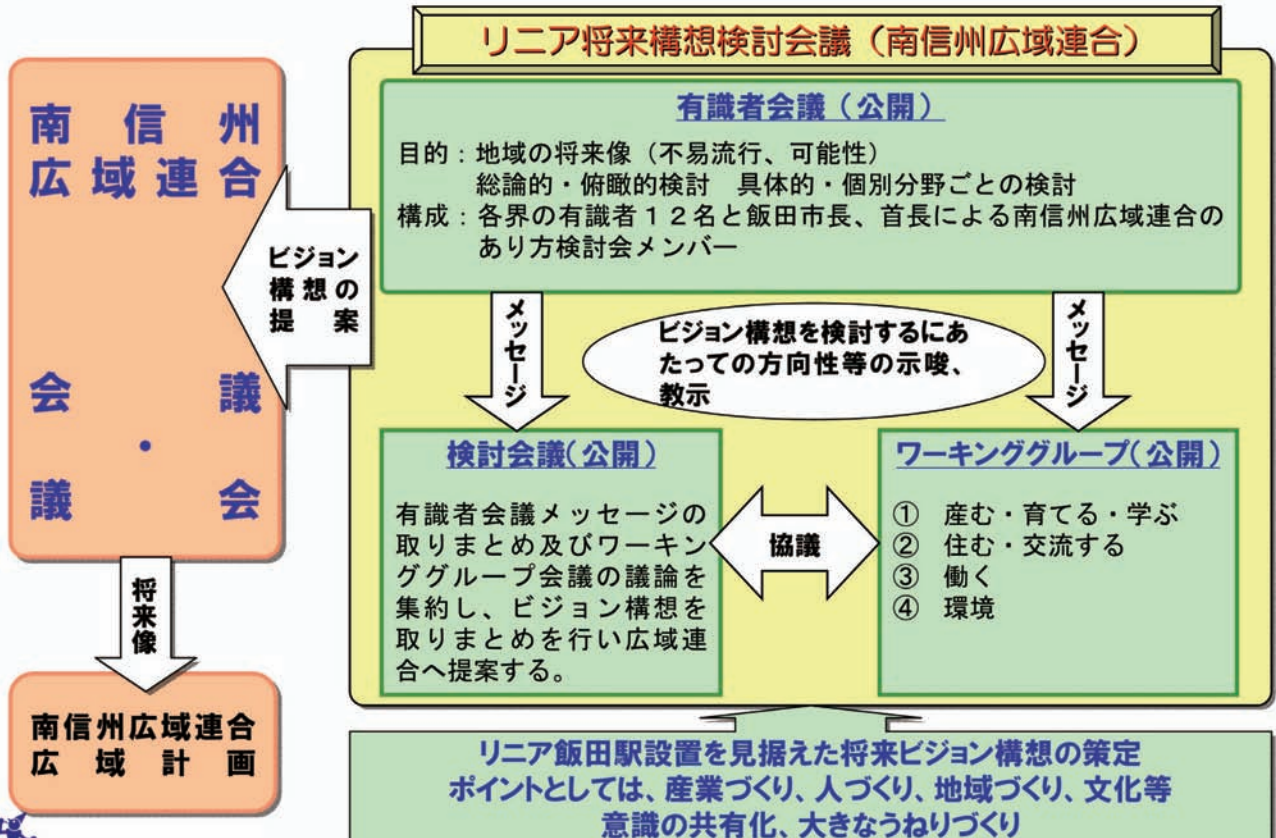
平成22年5月 飯田駅設置総決起大会

平成22年5月～リニア将来構想検討会議で議論を開始

環境影響評価

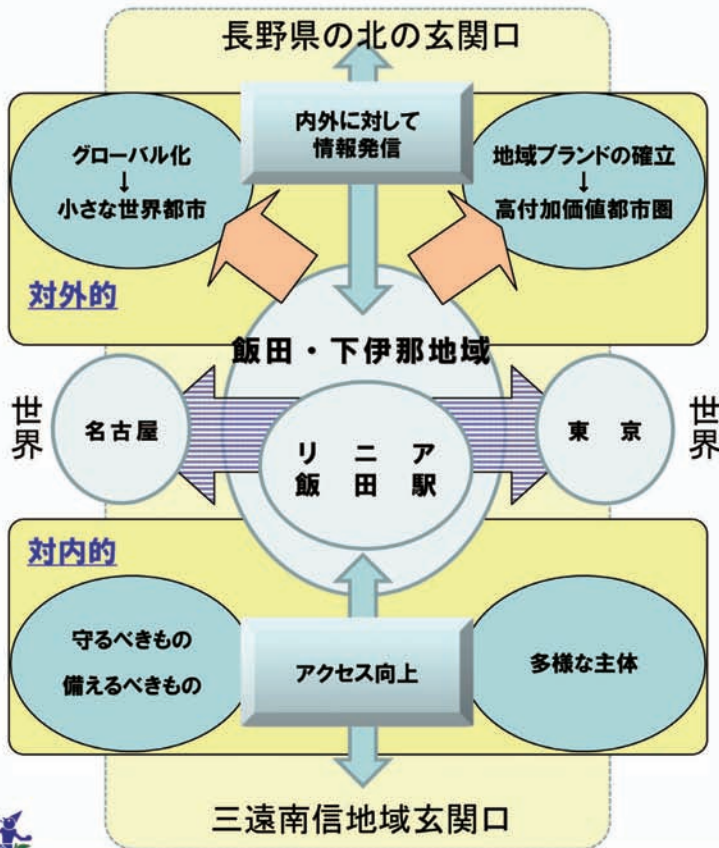
2

南信州地域の取り組み



3

リニア中央新幹線飯田駅を見据えたまちづくりの方向性



◆グローバル化(国際性)

～小さな世界都市～

- 国際空港までの時間距離の短縮を活かし海外との繋がりを高め、文化交流・研究開発機能の集積等を目指す。

◆地域ブランドの確立

～多産業高付加価値都市圏～

- ゼロエミッション特区のような特徴あるまちづくりを通じて、新産業創出や産業誘致のポテンシャルが高まる圏域となる。先駆的なモデル都市を目指すことによって、更なる人と情報の往来に繋がる。

◆多様な主体

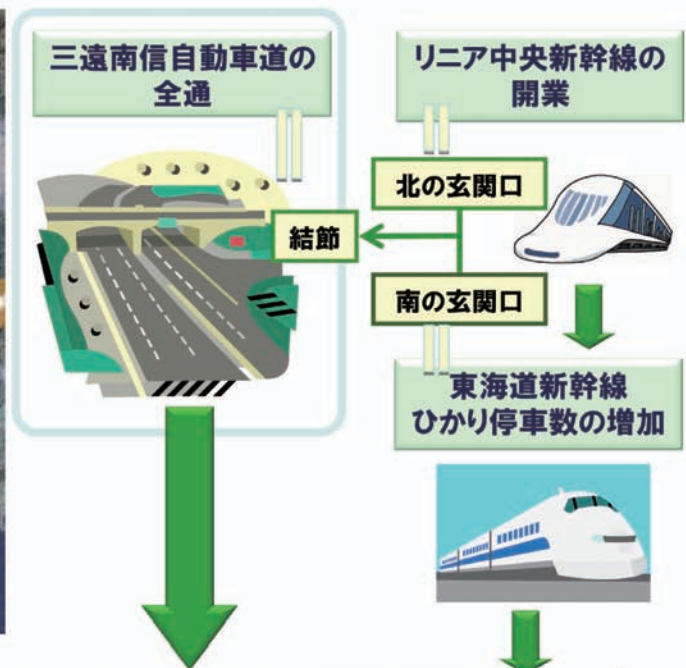
- 過去→現在→未来に紡ぎ継がれる「結い」の精神は、自主自立と多様な主体の礎となり、持続可能な地域にとって欠かせない要素。

◆守るべきもの、備えるもの

- 「ニッポンの日本」と言える「日本の原風景」をはじめとした地域のよさを知り、守り、伝える。地域の誇り(理念)に基づく地域づくりを目指す。

4

新幹線を活かした地域振興



三遠南信圏域の東西－南北の連携基軸によって、圏域全体の活性化に大きな役割を担う。

5